

秋田港港湾計画 —改訂—

平成18年2月13日
交通政策審議会
第17回港湾分科会

資料4-7



秋田港港湾計画の方針

【物流】

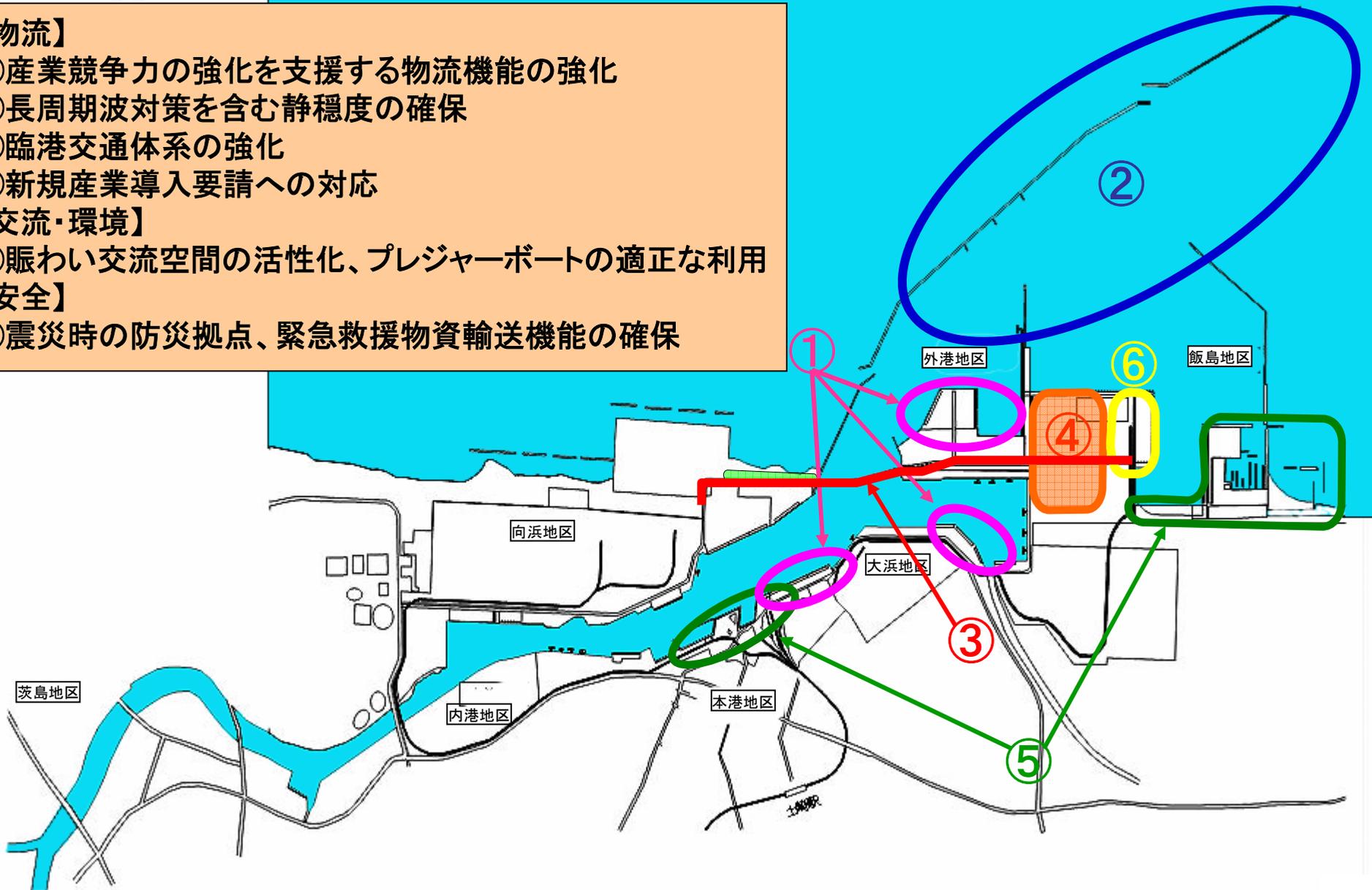
- ①産業競争力の強化を支援する物流機能の強化
- ②長周期波対策を含む静穏度の確保
- ③臨港交通体系の強化
- ④新規産業導入要請への対応

【交流・環境】

- ⑤賑わい交流空間の活性化、プレジャーボートの適正な利用

【安全】

- ⑥震災時の防災拠点、緊急救援物資輸送機能の確保

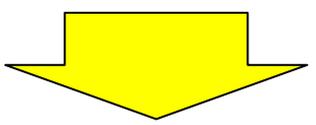


【物流】

産業競争力の強化を支援する物流機能の強化

【課題・背景】

- 外港地区に集約を進めている外貿コンテナ取扱について、冬季波浪荷役障害により集約が途上
- 大浜地区では、コンテナヤードが狭隘なため非効率な荷役活動
- 本港地区では、フェリーターミナルが狭隘なため、車両の乗降において安全性・利便性に支障



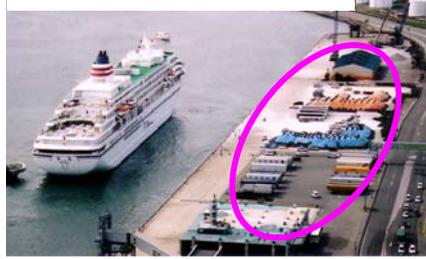
【対応】

- 外港地区における早期静穏度確保
- 外港地区への外貿コンテナ貨物取扱の集約(大浜地区→外港地区)
- フェリーターミナルの十分なスペース確保(本港地区→大浜地区)

外港地区の冬季波浪状況



ヤードの不足するフェリーふ頭



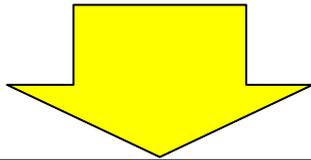
狭隘な大浜コンテナヤード

【物流】

長周期波対策を含む静穏度の確保

【課題・背景】

- 日本海特有の冬季波浪により外港地区において荷役障害
- 外貿コンテナ取扱集約と安全・安心な荷役の実現



【対応】

- 早期に安全・安心な荷役環境を提供出来るように風波・長周期波に対する静穏度確保の観点から外郭施設配置



荷役障害が生じている 外港地区

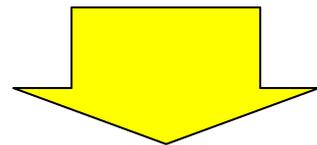
【物流】 臨港交通体系の強化

【課題・背景】

- 各埠頭からは臨港道路1号線と臨港道路13号線が利用されており、慢性的に混雑状態
- 飯島地区工業用地内において、効率的な物流機能が求められている

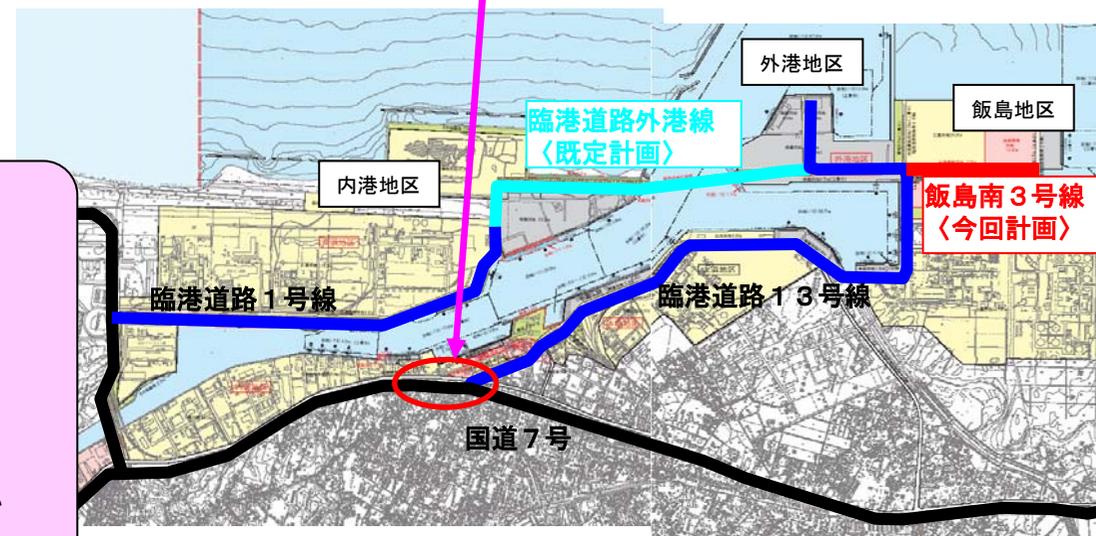


国道7号混雑状況



【対応】

- 貨物輸送の効率化を図るため、臨港道路外港線については既定計画通り
- 物流機能の効率化を図るために、飯島地区岸壁と臨港道路13号線を結ぶ臨港道路を工業用地内に計画



【物流】 新規産業導入要請への対応

【課題・背景】

- 製紙工場立地断念に伴う広大な未利用地の活用
- 飯島地区において、港湾に隣接した立地条件を活かしつつ、将来の発展性の高い産業や秋田の地域特性に沿った産業振興



既定計画における土地利用計画

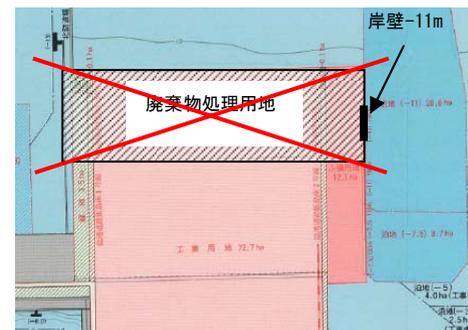
製紙工場・
同関連施設予定地
約70ha

今回計画で想定される土地利用計画

木材産業、食品加工産業、
加工組立産業、食品流通基
地、トラックターミナル、
自動車配送拠点、防災緑地

【対応】

- 広大な用地を活用した生産拠点・物流産業の誘致

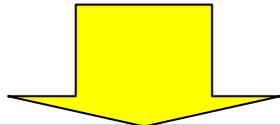


既定計画で想定していた製紙工場から発生する石炭灰、スラッジ灰の廃棄物処理用地、岸壁(-11m)を削除する。

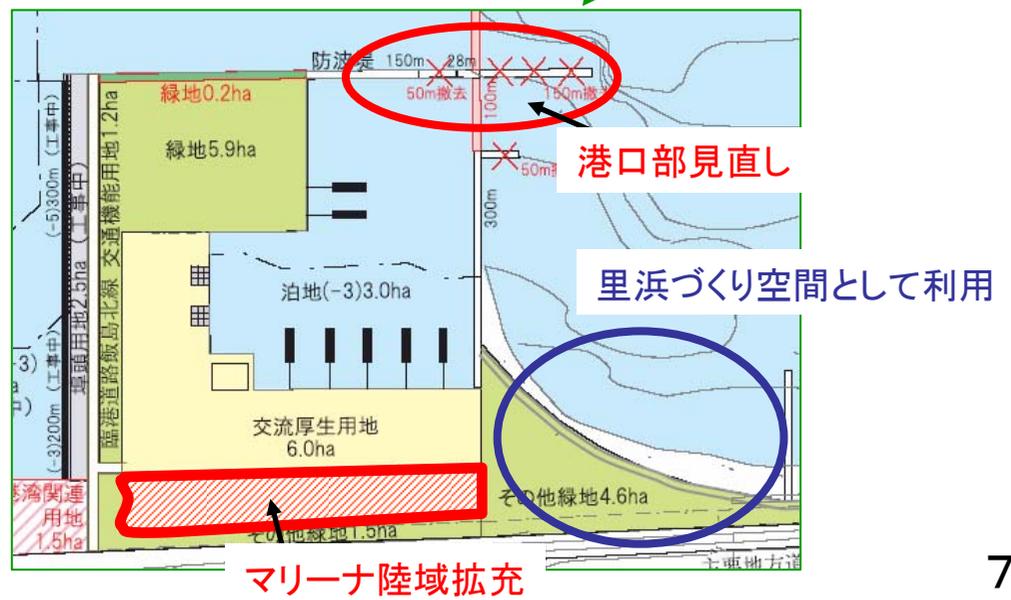
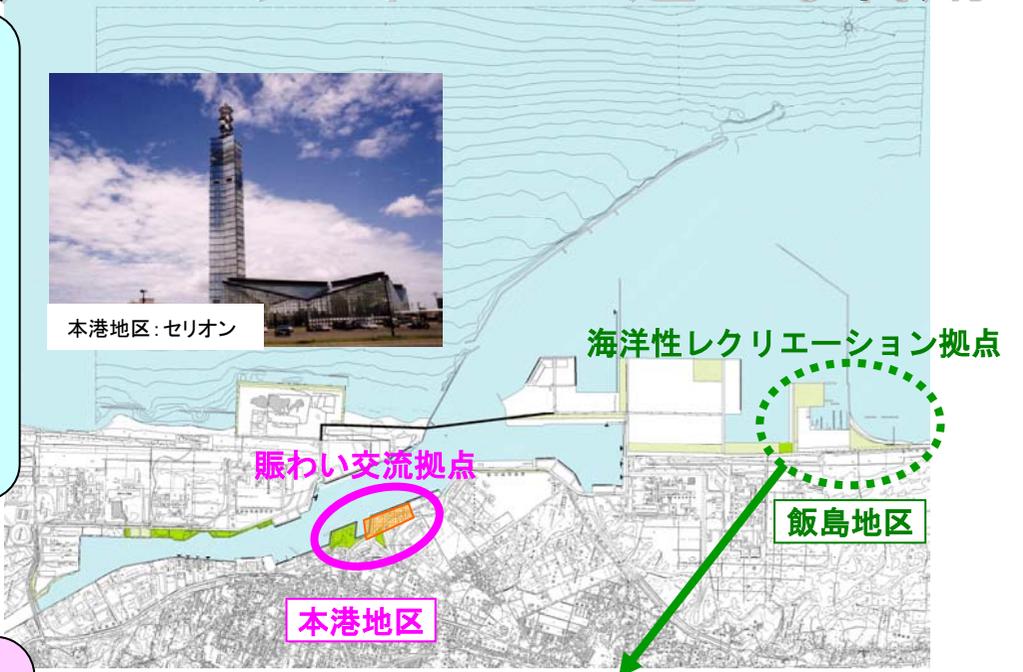
【交流・環境】

賑わい交流空間の活性化、プレジャーボートの適正な利用

- 【課題・背景】
- 本港地区交流拠点の環境整備
 - 親水空間の創出と海洋性レクリエーション拠点の充実
 - 港内に放置されているプレジャーボート対策
 - 既存マリーナの港口部埋没対策



- 【対応】
- 本港地区において、旅客船、フェリーを活用した、賑わい交流拠点を形成
 - 飯島地区北側をマリンレジャー空間、里浜づくり空間としての活用。
 - プレジャーボート対策のため既存マリーナの施設拡充
 - マリーナ港口部の見直し

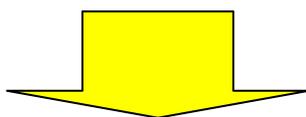


【安全】

震災時の防災拠点、緊急救援物資輸送機能の確保

【課題・背景】

- 震災時の避難等に利用できる、防災拠点の確保
- 震災時の地域の生活確保を目的とした緊急救援物資輸送機能の強化



【対応】

- 緊急救援物資輸送に対応し、岸壁 -11m を耐震強化岸壁化
- 避難等に多目的に使用できる防災拠点(防災緑地)を配置

